

平成22年度
地域づくり総務大臣表彰

受賞者の概要

平成22年12月21日

大賞

東谷 望史【高知県馬路村】	1
---------------	---

優秀賞

三重県多気町及び三重県立相可高等学校	2
株式会社 四万十ドラマ【高知県四万十町】	3

団体表彰

株式会社 エフエムもえる【北海道留萌市】	4
洞爺国際交流協会【北海道洞爺湖町】	4
特定非営利活動法人 清水町アイスホッケー協会【北海道清水町】	5
特定非営利活動法人 尾上蔵保存利活用促進会【青森県平川市】	5
千厩夜市実行委員会【岩手県一関市】	6
協同組合 仙台卸商センター【宮城県仙台市】	6
J A 秋田ふるさと青年部【秋田県横手市】	7
庄内映画村株式会社【山形県鶴岡市】	7
特定非営利活動法人 アンプ【山形県新庄市】	8
ながい黒獅子まつり実行委員会【山形県長井市】	8
特定非営利活動法人 川越蔵の会【埼玉県川越市】	9
映画製作会社FireWorks【東京都北区】	9
葛西さざなみ会【東京都江戸川区】	10
特定非営利活動法人 子育てコンビニ【東京都三鷹市】	10
くろべ漁業協同組合【富山県黒部市】	11
特定非営利活動法人 小谷山村留学育成会【長野県小谷村】	11
木綿街道振興会【島根県出雲市】	12
特定非営利活動法人 こやだいら【徳島県美馬市】	12
株式会社 やまびこ【愛媛県四国中央市】	13
伊予農希少植物群保全プロジェクトチーム【愛媛県伊予市】	13
特定非営利活動法人 鳳雛塾【佐賀県佐賀市】	14
特定非営利活動法人 ハットウ・オンパク【大分県別府市】	14
荘園の里推進委員会【大分県豊後高田市】	15

地方自治体表彰

茨城県桜川市	16
神奈川県小田原市	16

和歌山県北山村	17
和歌山県田辺市	17
島根県飯南町	18
高知県・高知県奈半利町・大月町商工会	18

個人表彰

野老 真理子【千葉県大網白里町】	19
清水 康之【東京都千代田区】	19
宮治 勇輔【東京都港区】	20
大野 長一郎【石川県珠洲市】	20
数馬 嘉雄【石川県能登町】	21
水野 龍二【長野県池田町】	21
江崎 貴久【三重県鳥羽市】	22

奨励賞

十和田バラ焼きゼミナール【青森県十和田市】	23
さくら座【山梨県山梨市】	23

東谷 望史

高知県馬路村

概 要

馬路村農協の代表理事組合長として、ゆずの生産、販売及びゆず加工品の製造、販売とともに馬路村ブランド化を確立する中心的な役割を担う。農協の売上高は年30億円を超え、通信販売の顧客は30万人に上る。1,000人の村で約100人の雇用も生み出している。農協のがんばりは、馬路村の行政や他の産業（林業、観光）の力にもなり、元気な村馬路村のイメージ定着と交流人口の拡大にもつながっている。

【経歴】

昭和27年 高知県に生まれる（現在58歳）
 昭和48年 高知県馬路村農業協同組合に就職
 昭和58年 高知県馬路村農業協同組合販売課長に就任
 平成14年 高知県馬路村農業協同組合代表理事専務に就任
 平成18年 高知県馬路村農業協同組合代表理事組合長に就任
 馬路村観光協会会長に就任（兼任）、現在に至る



【馬路村の概要】

高知県東部に位置し、高知市から車で約2時間のところにある。古来より杉の産地として知られており、特に魚梁瀬の干本杉は美林として有名。総面積の96%山林であり、林業の村である。しかし、山村特有の過疎化は深刻な状況で、現在、村ではゆず産業や観光や林業など地場産業の振興を目指した村づくりを進めている。



評価された点

- ・ 全国の過疎の町に勇気を与えた馬路村の礎を築いた点を評価。
- ・ 全国的に成果をあげている著名な事例。農産物のブランド化、展開のみならず、観光などの地域づくりにも発展。
- ・ 地域を元気にするという意欲だけではなく、大きなビジネスとして成功させている点を評価。
- ・ 氏の事業開始からの取組の努力は並大抵ではなかった。取り組んできた努力や成果は高く評価されるものである。
- ・ ご当地農産物のブームを作った人。全国各地への波及効果も大きい点を評価。
- ・ 村特産のゆずの加工品の販路開拓に尽力し、今や全国的に有名になった「馬路村ブランド」を確立させ、村に雇用を生み出している点が評価される。
- ・ 過疎に悩む多くの町に希望を与えた馬路村の功績は大きい。雇用や他産業に与えた影響も大きい。

三重県多気町及び三重県立相可高等学校

概要

「まごの店」は、五桂池（ごかつらいけ）ふるさと村「おばあちゃんの店（農産物直売所）」の食材を利用した、相可高校食物調理科生徒が運営する調理実習施設。ふるさと村・多気町・相可高校（産・官・学）が協働して実現し、開店以来“生徒たちのきびきびとした元気な姿”や“美味しい料理”などが話題を呼び、ふるさと村への入場者数の増加、「おばあちゃんの店」の売り上げアップなど波及効果も大きい。

【多気町の概要】

三重県のほぼ中央に位置する人口10,647人(H17)の農業中心の町。平成7年度には総合家電メーカーの液晶工場が操業を開始し、工業の町という一面も持っている。昭和58年に町が、収穫された野菜を販売する「五桂池ふるさと村」を建設。その中心となっている「おばあちゃんの店」で地元農家の野菜や手づくり加工品などが販売されている。

【相可高等学校の概要】

「生徒の夢をかなえ、地域と共に歩む学校」を基本理念に掲げ、普通科、生産経済科、環境創造科、食物調理科を有する総合高校。地域と連携した特色ある取組を行うことにより、「地域の学びの拠点」となる学校を目指している。明治40年、前身の相可村外三ヶ村組合農業学校が設立。平成14年10月、「まごの店」が五桂池ふるさと村にオープン。土日祝日にクラブ活動の一環として運営されている。



評価された点

- ・学校と地域との協働による地域づくりの好事例。「まごの店」は、教育の現場でもあり、ビジネスの場でもあり、地域づくり、コミュニティ形成の場にもなっている。近隣の五桂池ふるさと村「おばあちゃんの店」との連携もうまくいっている。
- ・「おばあちゃんの店」から「まごの店」「せんぱいの店」へと広がるストーリーは、地域全体を舞台とし、市民が参加した画期的なストーリー。特別な人ではなく、誰でも関われる親しみ易さが多くの人々の共感を生む。経済活動も活発化していることも高く評価できる。
- ・学校教育と地域が一体となった取組はすごく評価される。教育の原点である人間形成にも役立ち、新しい視点も生まれる。
- ・地元農産物のPRや商品開発を進めるため、高校生レストラン「まごの店」を展開し、観光客が多数訪れ、町の活性化が図られている。また、高校生に学校で学んだことを実践できる場を提供するとともに、卒業生の店である「せんぱいの店」を開業し、卒業生の定住や雇用創出までつなげている点が評価できる。
- ・世代を超えたコラボレーションが具体的な成果に結びついている点を評価。

株式会社 四万十ドラマ

高知県四万十町

概 要

主な活動として、顧客ニーズの正確な把握による物産販売、交流人口の拡大、独創性のあるコンセプト・販売戦略に基づく商品開発がある。四万十ドラマは、道の駅「四万十とおわ」の指定管理者となり、「ここにしかないもの」を提供できる滞在型の道の駅として、平成19年のオープン以来、累計50万人もの集客を生み、売上げの累計も約5億円に上っている。また、現在臨時職員も含め20名の雇用を新たに生み出している。



【経緯】

四万十川流域町村（旧大正町・旧十和村・旧西土佐村）が出資し第3セクターとして設立。平成17年、3町村から株を買い取り完全民営化となる。商品開発の主なものとして、

- ・ 実は茶処「しまんと緑茶・ほうじ茶・地紅茶」
- ・ 四万十オリジナル品種「十和錦・かおり米」
- ・ ポリのお風呂がひのき風呂「四万十のひのき風呂」
- ・ 古新聞が循環する四万十川方式リサイクルバッグ「四万十川新聞バック」などが挙げられる。

【四万十町の概要】

平成18年3月20日に、窪川町、大正町、十和村の2町1村が合併して誕生した。高知県西部を東から西へ流れる四万十川の中流域にあり、人口は20,527人（H17）。総面積のうち、林野87%を占めている。「山・川・海 自然が人が元気で四万十町」をキャッチフレーズに、多様な地域資源と町民の豊かな発想を活かしたまちづくりに取り組んでいる。

評価された点

- ・ 「四万十川」というわかりやすいシンボルを上手に使い、循環型のビジネスにつなげている。
- ・ 交通事情から鑑みれば、全国各地から最も訪ねにくい不便な地域のひとつともいえる立地で、そこを逆手に果敢に、かつ持続的に次世代へつなげる地域を自立させるための事業展開を実践している。オリジナル製品を自力で創り、送り出し続ける手法をオリジナルに編み出しており、他地域にも大いなるエールを送る事業として評価する。
- ・ 会員制による、人とモノの交流を活性化させた成功例。「四万十川に負担をかけないものづくり」のコンセプトが会員をはじめ多くのファンに支持されている。リーダーが他地域の商品づくりに関わるなど、連携拡大の姿勢も評価できる。
- ・ 地域の独自性を活かした戦略は高く評価される。特に古新聞を使用する「四万十川新聞バック」の展開はおもしろい。
- ・ 四万十が従来から持つブランド力、資源を活かして、さらにパワーアップさせている点を評価。

株式会社 エフエムもえる

北海道留萌市

概要

エフエムもえるが発信する情報は、留萌管内の地域情報に特化しており、生活に密着した情報を流している。番組はほとんどが、ボランティアによって運営され、ゲストであれば誰でも出演できる。ゴールデンタイムの聴取率は12%であり、地域の情報源として定着している。地域の住民同士が繋がり、コミュニティが形成され、地域づくりの活動が生まれる下地になっている。



評価された点

- ・ミニFM局というツールで地域の絆を再構築し、防災などの点でも成果を上げている点を評価。
- ・365日24時間放送のボランティアによって運営されているコミュニティFM。番組の大半を自主制作しており、エフエムもえるメンバーズクラブ会員を中心とした地域住民のつながり、ソーシャルキャピタル形成に貢献している。コミュニティFMを活用した地域再生の好事例。
- ・「最北の地域」と称される留萌管内地域の貴重な情報発信のパイプ役を果たしている活動である。また、様々な幅広い活動を通じてネットワークを多様に広げ、支援者集めを駆使しており、コミュニティメディアたるべき役割を果たし、地域にとって大切なプラットフォームとなっている点を評価したい。
- ・地域に放送を通じて情報を提供するだけでなく、駅の上にあるスタジオが、地域の中心になり多くの人の集まる交流場所となっていることを評価。



洞爺国際交流協会

北海道洞爺湖町

概要

週一回の英会話教室、学校支援ボランティアとして団体登録し、各学校での英語教育を支援、英国ボランティア青年と町民の交流イベントの開催等を行っている。洞爺湖町と諸外国との交流を積極的に推進し、受入れやホームステイを通し、諸外国への理解を深めるとともに創造的なまちづくりに寄与している。



評価された点

- ・週1回という頻度で研修や事業を実施してきた組織体制の素晴らしさと、その成果がしっかりと出ていることを評価。



特定非営利活動法人 清水町アイスホッケー協会

北海道清水町

概要

町民自らが清水町アイスアリーナの維持管理運営を行うことにより経費の節減を図り、練習会場を維持確保している。各種主催大会を積極的に開催し、アイスホッケーの振興を図っている。幼児クラブ、十勝ジュニアクラブ等の育成など、アイスホッケーの底辺拡大、普及活動を行っている。また、高校、大学等道内外からのアイスホッケー合宿を誘致している。



評価された点

- ・気候条件を活かしたスポーツに様々な階層の住民が参加できる仕組みを作って、交流を促進していることを評価。
- ・アイスホッケー（スポーツ）を通じて、地域を活性化している点は北海道という地域性を生かしたものであり、青少年の育成にもつながっている。
- ・地域づくりや人材育成にスポーツの果たす役割・効果の点からみておもしろい活動。



特定非営利活動法人 尾上蔵保存利活用促進会

青森県平川市

概要

蔵保存と利活用・農村景観づくり・グリーンツーリズム事業等を実施。農業と農村の持つ豊かさ、農村文化、地域資源を保全・活用するとともに、農家蔵という文化財の価値を再認識し、次の世代へ継承しながら新たな担い手が育成されていくこと、そして都市と農村の共生を構築している。



評価された点

- ・農村のあるがままの姿を財産として活用できている部分に可能性を感じた。
- ・農村地域の魅力発信としては、他に類のない美しい景観づくりを継承されており、中でも全国的に解体が進みつつある「農家蔵」を再評価し、活用しながら保存する「利活用事業」活動を実践されている。雪国という厳しい条件の中でのそれらの努力と住民総出の活動は極めて貴重な国の宝を守る住民パワーと評価できる。
- ・農村文化とグリーンツーリズムを融合させた成功例。概ね自主財源で運営されており、継続的な発展が期待できる。
- ・統一性のある蔵保存はありそうでなかなかないもの。



千厩夜市実行委員会

岩手県一関市

概要

昭和57年以来、地域住民が心ふれあう商店街の楽しめる市として、一関市千厩町の中心商店街で千厩夜市を毎年4月から10月までの第2土曜日に開催。地域活動に積極的に取り組む市民と商店街との連携協働により、まちの賑わい創出と交流人口の増加が図られ、明るく元気な商店街づくりを図っている。



評価された点

- ・商店街による長年の夜市開催の取組の持久力は素晴らしい。買い物客にも喜ばれ、実績が出ている。
- ・大型店を軸とするパワーセンターへの集中化が激しい中、地域住民密着型の活動を重ね工夫することで、固定客をつかみ、周辺からも集客させ、持続的に交流人口を創出させている地道な点を持続型地域づくりとして高く評価する。



協同組合 仙台卸商センター

宮城県仙台市

概要

協同組合・組合員の永続的発展のため、「人に愛され、人が集まり、人が住めるまちづくり」を掲げている。リノベーション（既存資源の再活用）の手法を用いて文化芸術・クリエイティブ産業に関する複数の拠点施設を整備・運営。また、事業展開に際して産学官との幅広い協働を行っており、商業という分野にとどまらない豊かで持続性のある地域発展が図られている。



評価された点

- ・地方都市の商業環境は、今後ますます困難が予想される中において、地域連携の新しい成長分野の開拓に結びつきかけづくりとして全国的にも注目されるべき事業と言える。商業界の領域を超えた新分野へのチャレンジ・モデルとして、他地域にも参考となる事例として評価する。
- ・文化・クリエイティブをテーマにした地域づくりは、分野が限られるケースが多いが、アート・音楽・演劇・舞踊から能楽まで幅広く、多くの方の参加がなされている。「文化による地域づくり」の先進事例。
- ・様々なステークホルダーとの協働・連携による地域づくりが定着し、地域活性化につながっている。



JA秋田ふるさと青年部

秋田県横手市

概要

食農教育活動、出逢い応援企画「農業っていいじゃない！」に取り組んでいる。食農教育活動では、年間1,000人以上の児童生徒、その保護者等にも、食と農の重要性が認識されてきている。出逢い応援企画では、NHKの協力のもと、その活動内容が、テレビ放映もされ、対象青年部のみならず、全国の農業関係者、視聴者等にも効果が及ぶことが期待されている。

評価された点

- ・農業に誇りを持てる人材を多く育成している点を評価。
- ・秋田県は健康問題が長年の社会課題でもある地域である。若手層の食育教育と健康づくりは、他地域と比較しても極めて必然性が高く、最優先されるべき活動として地元でも評価されており、地域づくりの目標でもある。食農教育活動は社会背景とも合わせて、まさに地域づくりとして「婚活」問題等と同様重要性が高く、評価したい。
- ・専門性を活かした活動が多様な社会問題の解決につながりつつある点を評価。



庄内映画村株式会社

山形県鶴岡市

概要

山形県庄内地域における映画文化の発展と地域の活性化を目指して、映画撮影の誘致や支援を行うとともに、月山山麓に位置し88haの敷地を持つオープンセットや、映画の衣装、大小道具、スチール写真などを展示する資料館などを拠点に観光誘客を行っている。来訪客や旅行者などに対して、庄内にある景勝地や観光施設、特産品など地域の魅力を発信している。



評価された点

- ・映画を通じた地域づくりの最も有名な取組。映画撮影の誘致だけではなく、オープンセットの観光化や、地域資源の発信事業などにもつなげ、総合的な地域づくり活動に発展している。
- ・日本、外国で評価される映画の撮影場所を提供している以上に、地域の住民が協力する場所を創り出していることを評価。
- ・まちのたたずまいを生かし、まち全体で庄内という風景を残し、日本の美を伝える取組をしている。日本の映画業界への貢献も大きく、製作費用を抑えられる仕組みを作っている。
- ・夢を記録し、独自の作品にしてくれる地域の実行力を評価。

特定非営利活動法人 アンブ

山形県新庄市

概要

中心商店街全体を1つの100円ショップに見立て、各店頭に100円コーナーを設置し、精算は店内のレジで行う仕組みを導入。誰でも客として気軽に店内に入ることができる環境を整備した。商品の説明を通し、消費者と商店主のコミュニティも形成されている。商店街の収益だけでなく、消費者と商店街とを結んだ地域全体の活性化につながっている。



評価された点

- ・シャッター通りが全国的に増えている中で、商店街にコミュニケーションとしての力を取り戻した功績は大きい。
- ・郊外型大型ショッピングモールへと流れたお客を取り戻すことに一定の効果をあげている。82%の商店が収益向上に貢献したと答えている。各商店の効果的連携を図り、地域密着の事業を展開した点が評価できる。
- ・商店街の各店舗の連携によって、「100円商店街」の取組を全国で初めて実施することで、市民が中心市街地に集まる機会が増えるとともに、新規、リピーターの顧客も増加し、商店街の活性化につながっている。また、同様の取組を全国に広めるため、ノウハウの交換、人的交流を図るなど、積極的に活動している点は評価に値する。



ながい黒獅子まつり実行委員会

山形県長井市

概要

黒獅子舞は傳承者の減少が課題となって、祭りの存続が危ぶまれる状況であった。そのような中で、地域を盛り上げるイベントを立ち上げようと、観光協会が中心となって黒獅子まつりを開催。まつりで多くの人たちに称賛される充実感を覚え、舞い手も集まるようになった。さらに、練習などを見守る人も集まり、老若男女の地域住民のつながりが再び強まり、コミュニティの活性化につながっている。



評価された点

- ・伝統芸能保存は少子高齢化の中、全国各地で危機的状況が続いている。そうした中で若手が先人達と力を合わせ、日常的に祭継承を支えつつ、次世代教育に積極的に取り組む姿勢は、讃えられる地域活動である。まさにコミュニティ再生と活性化の核となる事業活動である。
- ・全国各地で人不足で継承できなくなっている伝統芸能が増えているが、その復活のモデルとして各地の参考になる。



特定非営利活動法人 川越蔵の会

埼玉県川越市

概要

住民が主体となったまちづくり、北部商店街の活性化による景観保存、町並み保存のための財団形成を目標に、会が発足。川越蔵の会がこれまでに行ってきた提言・提案・応援等によって、一番街商店街による歴史的景観を活かしたまちづくり活動の開始、伝統的建造物群保存地区の決定、未活用の歴史的建造物等の保存・整備等へとつながっている。



評価された点

- ・歴史的景観を活かしたまちづくりの範となる事例。住民が主体となって、川越の歴史的ストーリーを存分に活用している。効果的な商店街再生につながっていることなど評価できるポイントが多い。
- ・江戸・明治から受け継ぐ繁栄の遺産を活用して、巨大都市の近郊にありながら独自の地位を確保していることを評価。



映画製作会社FireWorks

東京都北区

概要

日本初となる「市民参加型映画事業」を推進する映画製作会社FireWorksと、共同制作地域・団体における「映画による地域づくり」の事業を展開。その効果は、地域文化事業として新たな地域の創出、地域の人的資源の掘り起こしとネットワーク化など様々な形に現れるが、最大の効果は「その後の地域づくり」を推進するソーシャルキャピタル（社会関係資本）の生成である。



評価された点

- ・市民参加型映画づくりを通じて、地域のつながりを形成し、資源を再認識させている。数々の実績があり、映画撮影後も市民活動が継続しているところもある。
- ・市民参加型の映画制作事業は先進的。作品制作上、素人の市民との協働は困難が伴うと考えられるが、市民との粘り強い交流で乗り越えている。少ないながらも年々事例を重ねることが大きく評価できる。
- ・「映画」制作という非日常の中から、地域の価値を発見し、新たな関係性を生み出している点を評価。



葛西さざなみ会

東京都江戸川区

概要

現在失われつつある海苔づくりの伝統を、今の子どもたちに語り伝えようと、葛西近隣の小学校の総合的な学習の時間や、すすくすくスクール活動の中で「海苔すき体験」をボランティア活動の一環として実施。子どもたちは海苔すきという現代では体験できない体験をすることで、葛西の歴史と文化、そして葛西の海の環境を学び、豊かな「育ち」と確かな「学び」につながる。



評価された点

- ・学校教育と地域学習を都会の中でうまく成功させている。元漁師だった人の居場所と出番づくりにもなっている。
- ・人と資源をともに育成しようとする仕組みや過去+現代+未来をつなごうとする努力も評価。



特定非営利活動法人 子育てコンビニ

東京都三鷹市

概要

子育て分野における情報制作・情報発信事業、子育て関係者へのインターネット普及事業、子育て中の母親の社会参加支援事業、映画プロジェクト等の活動を行っている。三鷹市や市内の株式会社、NPO等からの委託を受け、様々な子育て情報、地域情報を提供し、また講座開催など独自の事業を通し、子育てに悩み、孤独感を抱く女性たちの支援に取り組んでいる。



評価された点

- ・少子化が問題になる中、子育て支援に注目し、実際に役立つ活動を多面的に展開。
- ・数ある子育て支援のNPOの中でも、子育てに関するHPの開設、子育て中の女性の社会参加支援、地域SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を活用した家庭教育支援、地域ボランティア事業への参加など、幅広い活動を行っている。中でも、不安を抱えて子育てをしている女性たちの声を集めたドキュメンタリー映画を制作し、全国で上映するなど、特徴的な取組も行っている。多岐にわたる活動で子育て中の女性たちの不安解消に寄与していることなどは評価できる。



くろべ漁業協同組合

富山県黒部市

概要

漁師が獲ってきた魚を販売する「とれたて館」と新鮮な魚を加工した干物を自分で焼いて食べられる「できたて館」からなる「魚の駅 生地（いくじ）」は、特産品の販売拠点となっており、地域産業の振興につながっている。また、漁協女性部が中心となって魚のさばき方など出張教室を開催する（年6回程度）など、魚食普及推進と併せて交流事業も幅広く行っている。



評価された点

- ・ 漁師がとれたての魚を販売する「とれたて館」、自分で焼いて食べられる「できたて館」というコンセプトがユニーク。さらに、各種イベントと連携し、地域内外の人たちが集う交流施設として機能している（例えば、「生地まち歩き」の拠点施設として）ところも評価できる。
- ・ 獲って売る権利を持つ漁協は国内でも数えるほどで、その権利を巧みに活かしながら獲って、売る、料理して提供し、情報発信をする等の交流産業への参画は、地域の雇用の安定化や漁業に就職する若者獲得や関心者の拡大に結びついており、地域づくりのチャレンジビジネスモデルとして高く評価する。
- ・ 取れたての水産物がありそうで、なかなか手に入りづらい中、ここを高く評価。全国の海岸を80%回った中で目立つ活動。本物。



特定非営利活動法人 小谷山村留学育成会

長野県小谷村

概要

夏休み等を使った短期山村体験等の継続的な実施などに取り組む。単に山村留学を復活させることだけでなく、子どもはもとより大人も山村での農林業体験や伝統芸能や食文化にも触れ、様々な体験や歴史を学ぶことで、小谷村を知ってもらおう山村留学を行っている。



評価された点

- ・ 自然を売り物にするだけの都会との交流ではなく、山村全体の生活を体験させる企画を評価。
- ・ 小さな村の取組だが、地域の取組を体験させることで活性化している事例。こつこつと努力している点を評価。
- ・ 行政による山村留学制度が廃止になった危機感から、地元住民が中心となって都市住民との交流を深めるため、農林業体験や自然体験だけでなく、住民が出演する創作劇を開催するなどの地域の伝統芸能を取り入れた交流は特徴的であり、I、Uターンなどの効果も上がっている。また、継続した取組が地域だけでなく、村全体の活性化にもつながっていることが評価できる。



木綿街道振興会

島根県出雲市

概要

平田木綿の集散地として江戸末期から明治初期にかけて栄えた「木綿街道（出雲市平田町）」の古きよき町並みや歴史の保存継承、イベント開催などの活動をしている。夢街道ルネサンス（国土交通省）の指定もあり、木綿街道がひとつのブランドとして確立されつつあり、古い町並みの散策地として雑誌・観光ガイドブック等への掲載もされるようになった。



評価された点

- ・残されてきた歴史遺産を維持しながら新しい資源に再生させていることを評価。
- ・地域独自の伝統的な町並みや食文化の保存・継続活動を地道に継続することで、住民自身の地域に対する意識改革へとつなげている。古くから受け継がれてきたものを継承しつつ、学生によるワークショップや、町並みや食文化を活かした各種イベントを開催するなどの、新しいアイデアや工夫を加えて活性化を図っている点が評価される。



特定非営利活動法人 こやだいら

徳島県美馬市

概要

過疎地有償運送を開始し、地域内住民の買い物や通院などの交通手段の確保、また、一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯への見守り・相談活動を行い、農林業作業のサポートにも取り組んでいる。一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯が多く、遠隔地に居住している家族は、日常生活の送迎が困難であり、安否への不安があったが、交通手段の確保と不安軽減が図られた。



評価された点

- ・全国的に大きな問題となっている山間地での「生活の足」を確保し、コミュニティの絆を強めることにまでつなげている。
- ・高齢者が孤立しないように、域内輸送や買物代行などを、自主的に実施。見守りなどの安否確認も実施しており、今後の過疎地域の支援モデル事業となろう。



株式会社 やまびこ

愛媛県四国中央市

概要

地場産品の無農薬のお茶を使ったお菓子（例；霧の森大福）などの特産品を開発・販売することで、霧の森ブランド・新宮茶（しんぐうちゃ）ブランドとして全国に発信して、新宮茶の価値を高め、生産者の意欲の向上や地場産業の振興、雇用の創出、交流人口の拡大を実現している。



評価された点

- ・地域産品のブランド化を図り、雇用の創出、交流人口の増加を実現。第三セクターの成功例として、他地域のモデルとなる。
- ・霧の森大福の取組はすばらしい。こういったヒット商品を展開していくことは、地場産業の活性化につながる。



伊予農希少植物群保全プロジェクトチーム

愛媛県伊予市

概要

海浜植物群落再生・保全プロジェクトを実施。プロジェクトの成果を広く発表されたことにより、塩屋海岸が人と自然が触れあえる場所として全国に認知されるようになった。また、清掃活動は、海岸に訪れる人のゴミの不始末や不法投棄、不法採取を減少させ、特に同世代である若年層の環境保全・保護意識の高まりに効果があった。



評価された点

- ・生態系保全という利益にならない活動を継続して、結果として人を呼び込むことに成功している方向性を評価。
- ・長さで言えば世界に誇れる日本列島だが、実は深刻な問題を抱え、日本の海岸は病んでいる。それに目を向け、地道に活動をすることを評価。



特定非営利活動法人 鳳雛塾

佐賀県佐賀市

概要

小・中・高校・専門学校向けキャリア教育事業(起業家教育事業)、大学生・社会人向けビジネススクール事業等を行っている。キャリア教育事業の対象児童・生徒は平成21年度1,341名(累計約5,700名)、ビジネススクールの受講生は現在までに約320名にのぼり、全国的に注目されるIT企業を起こした人、地元商店街の活性化を目指して活動する学生サークルの設立など、経済の活性化に一定の効果をおよぼしている。



評価された点

- ・ 地方における最大の課題は「雇用」問題である。既存の事業者、マーケットでは限界が見えているのが現実でもある。そうした中で、地域でニーズに応える職域と雇用先を創出させていく考えを中心軸に、キャリア教育や起業家教育を推進することは極めて重要である。今後も永続的に活動されることを心から期待する。
- ・ 小さい頃から体系的な起業家教育を実施。特に地域に基盤をおいた、小さいビジネスの作り方のノウハウを伝授している。また創業の実績も大きい。
- ・ 社会起業家を地域で育てていこうというのは、これからの時代大切なこと。この点は高く評価できる。そしてその人材が活躍している点もすばらしい。



特定非営利活動法人 ハットウ・オンパク

大分県別府市

概要

オンパクは「温泉博覧会」の略語であり、小規模な体験交流型イベントをたくさん集めて短期間に実施する。温泉資源を核として、人、物、社会資源などの地域資源を有機的に結びつけ、ウエルネス産業おこしによる地域活性化に貢献している。また、全国各地の地域づくりモデルとして「オンパク手法」を積極的に普及させ、全国的展開で地域活性化に貢献している。



評価された点

- ・ 活発な活動により、別府温泉の再生をはじめ、オンパク手法を普及させ、各地の地域再生に貢献しており、今後の可能性に期待が持てる。
- ・ 日本の中でオンパクという新しい地域づくりのモデルを作り出した貢献度は大きい。
- ・ 地域資源を活かすことに着目して取り組んでいる。別府の温泉を有機的に結びつけている点は評価できる。
- ・ 手法が別府以外の地域にも活かされている点を評価。
- ・ 地域資源の発掘と有機的な結びつけが生活者起点で、非常におもしろく継続性がある。この手法は全国に広がっており、大臣表彰にふさわしいと考える。



概要

千年の時を刻むムラおこしとして、中世の農村村落遺跡田染荘（たしぶのしょう）の保存、荘園領主制度の創設とグリーンツーリズム（都市農村交流）、重要文化的景観の選定への取組を行っている。田染荘が保全されたことにより、春夏秋冬、田染荘を訪れる人々は、現在も日本の原風景を、心の中に描くふるさとを、この地に見ることができる。



評価された点

- ・農地の「基盤整備」とグリーンツーリズムを組み合わせたユニークな事例。歴史・文化との接点が明確で、交流する人々にロマンを感じさせる仕掛けも十分になされている。
- ・地域に埋もれていた歴史遺産を復興させることによって、新しい活動をつくり出していることを評価。
- ・田植え時の衣装を貸し出すという工夫加えた棚田オーナー制度を創設したり、一般客を対象とした農村民泊を実施する等、様々なアイデアや工夫で農業の収益性の向上を図り、農業を営みつつも、中世から続く歴史的価値の高い水田景観の保全を進めるという、他地域のモデルとなるような取組を行っている。



茨城県桜川市

概要

地域住民と行政が一体となり、歴史的町並みや伝統的建造物の保全活用や真壁（まかべ）のひなまつりにおける観光客のおもてなし、歴史的景観に配慮した都市基盤施設整備等を行っている。地域住民と行政の継続的な取組の結果、平成22年重要伝統的建造物群保存地区に選定された。



評価された点

- ・行政だけでなく、地域市民との協働による長年の取組であるとともに、ハードとソフト事業が非常によく連携できている。
- ・歴史を生きたままで保全することを評価。



神奈川県小田原市

概要

平成23年度からスタートする総合計画の策定にあたり、新たな市民参画手法である無作為抽出による市民討議「おだわらTRYフォーラム」や、地域住民による地域別計画づくりのプロセスを取り入れ、持続可能な市民自治の実現に向けた取り組みを進めている。

また、より多くの職員が主体的に計画づくりに関与するため、組織・役職を越えたオープンな対話やシナリオプランニングなどを行い、市民・職員双方でポジティブ（ホールシステム）・アプローチを実践している。

*ポジティブ・アプローチ：人や組織が有する強み・価値・希望・理想といったプラスのエネルギーを活かして素晴らしい未来を実現するため、自分や自組織の最大の可能性としてのありたい姿を描く。そして、そのありたい姿と現実的な達成状況を共有することによって新たな取組を導き出していく。



評価された点

- ・「持続可能」な市民自治のためにサイレントマジョリティの力を発揮するシステムの一例を示した点を評価。
- ・まちづくりの全ての段階で市民参加を実施しているとともに、現在総合計画を策定中で、市長のリーダーシップの下に、職員の意識改革、市民の積極的な実践を可能としてきており、成熟した自治体を体現することだろう。
- ・無作為抽出した市民に招待状を送るなど、市民参画手法にチャレンジが見られる。またそれらの成果を総合計画に反映させるなど実質的なものとなっている点を評価。また、職員の意識改革にも成功しているようだ。



和歌山県北山村

概要

全国自治体初となる地域密着型ブログポータルサイト「村ぶろ」を構築し運営。自治体としての信頼性と話題性を背景に、バーチャル村民である北山村ファン（ブログ会員）の輪を全国に広げ、地域の情報を発信し、観光産業の推進を図るとともに、「村ぶろ」内に同村の特産品である「じゃばら」（柑橘類の一種）のインターネット直販サイトを開設するなど地域産業の発展に取り組んでいる。

評価された点

- ・情報技術を効果的に活用した、小さな村の成功事例。情報技術による緩やかな紐帯、コミュニティ形成によって、リピーター、応援団をつくりだし、地域産業の発展に貢献している。各地の中山間地に勇気と元気を与えてくれる。
- ・小さな村ならではの取組が、高く評価される。特産品をしっかりとしぼり込み、観光と組み合わせた展開が村の生き残りをかけている。
- ・「ブログ」を活用した地域活性化事業として、ユニークである。
- ・他の自治体に先駆けてブログによる地域情報発信に取り組んでおり、「じゃばら」の販売増につながるるとともに、村民やブログの会員同士の情報発信、情報交換が行われており、自発的な交流の輪が広がるなど、地域活性化が促進されている点が評価される。



和歌山県田辺市

概要

熊野古道等の地域資源を活かした観光地づくりのため、官民協働のもと、独自の取組を実施。奈良県十津川村と「聖地熊野を核とした癒しと蘇りの観光圏協議会」を結成し、「健心・健脚・健浴・健食」をテーマに、「癒しと蘇り」の旅を提供する滞在型旅行の促進、市内5つの観光協会が設立したツーリズムビューローへの「田辺観光戦略推進事業」の委託、ヘルスツーリズムの継続発展のため熊野で健康ラボの事業等への支援など、官民協働の観光施策等を実施している。

評価された点

- ・世界遺産指定地は指定後特に注目度も高く、急変化への対応や環境悪化等の抱える課題も多い。そうした中でまちの活性化、人材育成、人材教育、リピーター育成等、極めて丁寧で自立的な事業活動の広がりを持続的に実践している点を特に評価する。
- ・ツーリズムビューローは着地型旅行業の先進事例。地域資源の掘り起こし、組み合わせ、多言語による情報発信、人材育成手法など他地域に良い影響を及ぼしている。また、熊野で健康ラボにおけるヘルスツーリズムへの取組など、日々新たなテーマにチャレンジする姿勢も評価できる。
- ・熊野古道という世界的な観光資源を、行政、市民、NPOなど全ての地域の関連団体と連携し、その資源を最も有効になるようにグランドデザインを描くとともに、具体的事業を実践している手腕は見事。



島根県飯南町

概要

平成17年から、町の面積の約9割を占める山林（地域資源）を活かした産業創出を図るため、森林の癒し効果を利用した「森林セラピー事業」に取り組んでいる。森林、温泉など様々な地域資源を組み合わせ、最大限活用した産業を創出することで、通過型観光から滞在型観光へと転換を図るとともに、交流・定住人口の増加につなげている。



評価された点

- ・実践としての活動歴は長期間ではないものの、森林セラピー事業のみならず当該地域は長年に渡り森林資源活用に取り組んでおり、希少な資源を生かした地域産業への期待を集め次代産業への道筋が見え始めているところである。「緑の活用」による地域づくり活動を評価する。
- ・日本各地で同じような状態にある過疎の山村を唯一資源である森林で発展させようとしている意欲を評価。



高知県・高知県奈半利町・大月町商工会

概要

高知県では、行財政改革だけでなく、民間との協働促進、行政サービスの質の向上、雇用就労機会の創出など地域活性化を同時に実現するために、県庁業務のアウトソーシングに取り組んできた。効果を県内全域に波及させるため、ホームページ作成、会議録作成、調査など履行場所の制約を受けないものをテレワークで発注し、奈半利町や大月町など県内全域からの参加を可能にした。



評価された点

- ・自治体の業務をアウトソーシングして、市町村のSOHO育成、産業創出につなげる取組。eラーニングによる教育にも力を入れる。地域に関心を持つ人たちが生まれ、独自の地域産品開発などの動きも起こっていて、各地の範となる事例と思われる。
- ・となりまち同士の共同事業がうまくいっている例はありそうで少ない中、先進的事例として評価。



野老 真理子

千葉県大網白里町

概要

「住民ひとり1貢献のまち・社員ひとり1貢献の会社」を目指し、事務所を地域活動の場として住民に開放し、従業員とともに、事務所内での学童保育、駅・道・海等の定期清掃活動、カルチャー教室、コンサート・講演会（99人の有識者から話を聞くため毎月開催している「ねっと99夢フォーラム」）の開催など130を超える地域貢献活動を展開している。

評価された点

- ・企業の本来業務と地域貢献活動を渾然一体として取り組む姿勢は先進性があり、今後企業のあり方のモデルとなる。経営者としてのリーダーシップはもとより、地域のニーズにマッチした手づくりの貢献事業により地域住民の信頼を得ており、行政機関からも頼られる人物。子育てへの支援は、他地域へのモデルケースになる可能性がある。
- ・住民ひとりひとりの居場所と出番づくりを展開し地域貢献につながった成果を評価する。身近なところから取り組んでいるところがいい。
- ・補助金やスポンサーに頼らず、自らの会社の収益を使い、会社を開放し、自律した活動をビジネスとリンクさせているところが評価できるとともに、非常に多岐にわたる企画を実施しており地域活動に対する意欲というものを強く感じる。



清水 康之

東京都千代田区

概要

「個人の問題」とされてきた日本の自殺を、メディアの啓発戦略により社会問題化させ、自殺対策を社会全体で推進するためのシステム構築に取り組む。「速やかな自殺の実態把握→多角的な視点からの実態分析→総合的な対策の立案→その推進に必要な連携の構築→多分野の関係者による具体策の実践→その検証と改善策のフィードバック」というPDCAサイクルの確立に取り組む。

評価された点

- ・自殺の問題を個人の問題から社会問題化した貢献度は大きい。
- ・自殺・自死の問題を社会化させ、法律制定に大きな寄与をするなどの功績は大きい。



宮治 勇輔

東京都港区

概要

都心で働く農家のこせがれに実家に戻ってもらい就農してもらうための支援活動。初年度に、都心で働く農家のこせがれから実家に戻って就農を果たした仲間が3名。現在、約1万人に情報発信を行う。農家のこせがれネットワークをうまく活用してREFARMした新規就農者は瞬く間に有名農家の仲間入りをして、都内の名店との取引を拡大している。

評価された点

- ・ 第一次産業に元気を与えるためにまだ途上とはいえ、若い後継者の前向きな取組を評価したい。
- ・ 全国の農業事業者、特に若者に夢を与えている好事例。農業を、かっこよく、稼げる産業と位置づけ、各種団体との協働によって若者の就農、産業化に貢献。地域産品展開にも期待が持てる。
- ・ 農業の新しい魅力を発信し、新たな切り口で展開していることを高く評価する。農業のもっとも課題となっている後継者問題の解決につながる。
- ・ 農業復活、農業人口を増やすことは社会的課題。チャレンジ精神と目のつけどころのシャープさを評価。



大野 長一郎

石川県珠州市

概要

炭やきを通じて能登に伝わる里山の伝統技術の継承と、高付加価値商品である「お茶炭」の産地化に取り組む傍ら、平成16年より自身の所有地や、耕作放棄地を借り受けてクヌギの植林を進めており、これまで自身やボランティアらとともに植樹したクヌギは約3,000本に及ぶ。

評価された点

- ・ 炭やきを中心とした里山保全活動、情報発信は、中山間地域に勇気と活力を与える。また、大学との協働などで、各地にも広がる可能性を秘めている。
- ・ 一人から始まる「100年の森づくり」活動は、都市と山村地を結び合わせる、具体的な実践のための情報メディアとなり、交流の太い絆となってきている。今後も更に他の地域への波及効果を期待し大きく評価させて頂きたい。
- ・ 炭やきという伝統産業の維持だけではなく、金沢大学の活動などと協力しながら地位全体の発展に貢献していることを評価。

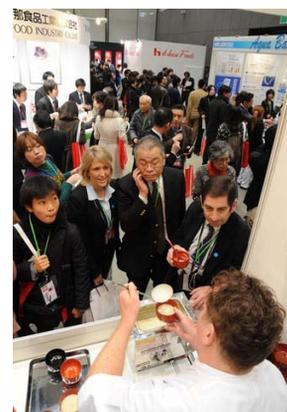


数馬 嘉雄

石川県能登町

概要

「いしり」（能登地方の魚醤〔ぎょしょう〕）をブランド化するため、「知名度を上げる」「もっと使いやすい商品の開発」「健康食品としての可能性調査」の3つをテーマに活動した。魅力あふれる能登の人々を紹介した「能登人」の発刊や、東京からの地酒列車の運行、能登の地酒や食材が売りである銀座の居酒屋「のとだらぼち」の経営などに果敢に挑んでいる。



評価された点

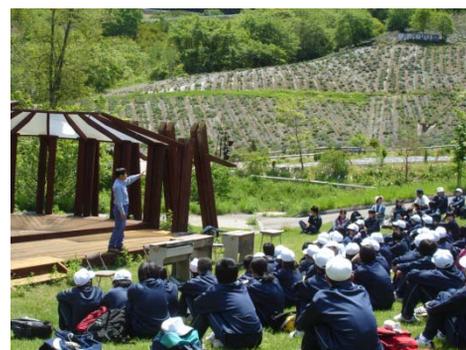
- ・「いしり」のブランド化を進めながら、能登の文化発信や人的交流を推進。「醸（かも）し」をキーワードとした、能登全域を舞台としたエコツーリズムは、誰でもどこでも参加できる身近なテーマが切り口で定着している。広いネットワークから、新たな事業も立ち上がり、実質的な経済効果ももたらしている。
- ・活動が地域に根ざしたもので、かつ一過性でないところが評価できる。また、一つの組織に固執することなく、課題や状況に合わせて取組を行っていることは秀逸。

水野 龍二

長野県池田町

概要

養蚕業の衰退により人口流出、農地の遊休荒廃が進み、地域住民が元気を失いつつある中で、自らの故郷 池田町陸郷（りくごう）を魅力ある地域、人が大勢訪れる地域にしたいと、地域づくり団体「夢企画」を立ち上げて、地域の若者達とイベント等を開催して地域づくりに取り組む。地域全体を年間5万人が訪れる観光地として再生した。



評価された点

- ・イベントだけでなく、地道な活動を長年続け、魅力ある地域に再生した点を評価。
- ・過疎地域の問題に自ら企画し、身銭をきって活動を開始。それによって、周りにも気付きを与え、勇気を与えたことは大きく評価できる。
- ・ふるさとを大勢の人が訪れる魅力あふれる地域にしたいと、22年にわたり3,800本以上の桜の植栽や7万本のラベダーが咲く観光農園「夢農場」の経営など、積極的に地域づくりに取り組んだ結果、過疎であえぐ地域が観光地として再生した。こうした、熱意ある取組を長年続け、地域の活性化に貢献したことは、大いに評価できる。

江崎 貴久

三重県鳥羽市

概 要

三重県鳥羽市の旅館業と地域をフィールドとしたエコツアーの主催を通して、地域づくりリーダーとして活躍している。鳥羽を訪れた人へ鳥羽の海や人の素晴らしさを伝えることを目的に平成13年「有限会社OZ」を立ち上げ、自らもエコツアーガイドを行うエコツアー事業「海島（かいとう）遊民くらぶ」を発足した。



評価された点

- ・エコツアー主催に留まらず、ツアーから得た収益の一部を環境教育・保全教育資金として漁協への寄付や子ども達の事業へ還元するなど持続可能な仕組みづくりを実践。漁協や官民各種団体とも連携し、地域発信に務めている。ガイドの育成や国内外からの研修生の受入れなど人材育成にも尽力している。若いながらも、地域のキーパーソンとして幅広く人望を得ている。
- ・海離れとなった日本。かつては優れた海洋文明国家だったはず・・・。海をベースにする地域づくりを評価する。



十和田バラ焼きゼミナール

青森県十和田市

概要

戦後から十和田市民に広く食されている「バラ焼き」を、広く物産関係イベントへ出店してPRし、観光客誘致を図るとともに、市内飲食店をはじめとする商店街等の活性化に寄与している。各メディアから取材を受け、「十和田市」「十和田バラ焼き」の知名度アップに貢献、「バラ焼きのタレ」の開発・販売や観光客の入込増による観光面の活性化、飲食店などの地域商工業の活性化にも貢献している。



評価された点

- ・ 9月18、19日に開催された「B-1グランプリ in 厚木」において8位に入賞した。直接見た者以外にはうまく伝わらないだろうが、活動に取り組む意欲、工夫、実行力には目を見張るものがあり、感動的ではある。バラ焼きという料理もだが、バラ焼きゼミナールのメンバーが「地域の宝」であると言える。十和田市長自身もマニフェストに入れており、今後の発展が大いに期待できる。



さくら座

山梨県山梨市

概要

毎週メンバーの小学生が、代表者宅に集合し、読書、絵本・紙芝居作りを行う。皆で悩みごとなどを話し合い、仲間意識を高め、良い社会人となるための常識を身につけることにもつながっている。大型紙芝居の公演を地元の老人会、小学校など毎年10回程度開催している。さくら座のメンバーは、市内で行われるボランティアイベントには積極的に参加し、社会奉仕の精神を養っている。



評価された点

- ・ 小さなことから始まりだが、こういった地道な行動は大事。こつこつと積み重ねていくことが、成果につながっていると思う。

